

# 令和3年度第4回社会教育委員会議次第

日 時 令和4年3月25日（金）

午後3時00分から

場 所 第二庁舎4階 教育委員会会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 案 件

(1) 各種会議等の報告について 【資料1】

(2) 地域ぐるみ家庭教育支援フォーラムの報告について 【資料2】

(3) 厚木市における地域学校協働活動について

ア 地域学校協働活動推進員等の活動報告について 【資料3】

イ 地域学校協働活動提言書の作成スケジュールについて 【資料4】

ウ 地域学校協働活動提言書の内容について 【資料5】

(4) その他

4 閉 会

令和3年度社会教育委員会議 活動報告書

資料1

厚木市主催事業

期 日	会議等の名称	内 容	場 所	参加人数
8月24日(火)	第1回会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員会議の公開及び会議録について</li> <li>・令和2年度活動報告について</li> <li>・令和3年度活動計画について</li> <li>(「厚木市における地域学校協働活動について」(提言書作成)【継続】、地域ぐるみ家庭教育支援フォーラム)</li> <li>・小委員会委員の選出について</li> <li>・各種委員の選出について</li> <li>・「元気なあつぎっ子 心がけ6か条」の原稿確認について</li> </ul>	第二庁舎 16階 会議室A	14人
9月28日(火)	第1回小委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚木市における地域学校協働活動について</li> <li>・令和3年度地域ぐるみ家庭教育支援フォーラムについて</li> </ul>	第二庁舎 2階福祉事務所会議室	5人
11月19日(金)	第2回会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種会議等の報告について</li> <li>・地域ぐるみ家庭教育支援フォーラムについて</li> <li>・厚木市における地域学校協働活動について</li> </ul>	第二庁舎 4階 教育委員会会議室	13人
12月23日(木)	第2回小委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚木市における地域学校協働活動について</li> <li>・令和3年度地域ぐるみ家庭教育支援フォーラム(パネルディスカッション)について</li> </ul>	第二庁舎 4階 教育委員会会議室	4人
2月1日(火) 発送 (2月16日(水) 返送期限)	第3回会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ぐるみ家庭教育支援フォーラムについて</li> <li>・令和4年度社会教育関係団体に対する補助金について</li> </ul>	書面会議	12人
3月9日(水)	第3回小委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚木市における地域学校協働活動について</li> <li>・令和3年度地域ぐるみ家庭教育支援フォーラムについて</li> </ul>	第二庁舎15階農業委員会会議室	5人
3月中旬	「元気なあつぎっ子 心がけ6か条」配布	「元気なあつぎっ子 心がけ6か条」市内小学生に配布		
【動画配信】 3月19日(土)	フォーラム	令和3年度地域ぐるみ家庭教育支援フォーラム ・講演「地区公民館の挑戦 地域社会における緩やかなつながりづくり～地域ぐるみ家庭教育支援事業と地域学校協働活動～」 森の里公民館 地区館長 青木 信二 氏 ・パネルディスカッション「地域学校協働活動の身近な実践例」 厚木市社会教育委員会議 遠藤進委員 森の里小学校地域学校協働活動推進員 飯田佳奈氏 玉川せんみ風保存会 会長 前場政行氏 愛川町立中原中学校地域学校協働活動推進員 高橋誠氏 愛川町教育委員会 生涯学習課 谷島花氏	サイエンスホール250にて収録	7人
3月25日(金)	第4回会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種会議等の報告について</li> <li>・厚木市における地域学校協働活動について</li> <li>・地域ぐるみ家庭教育支援フォーラムについて</li> </ul>	第二庁舎 4階 教育委員会会議室	

## 神奈川県社会教育委員連絡協議会関係等

期 日	会議等の名称	内 容	場 所	参加人数
4月16日(金)	第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度実施事業について</li> <li>・令和3年度事業計画(案)について</li> <li>・令和3年度全国社会教育委員連合表彰候補者の選考について</li> <li>・地区研究会の開催について</li> <li>・令和3年度役員等について</li> </ul>	かながわ県民センター	1人 杉山前議長
【書面開催】 6月7日(月)発送 6月30日(水)回答期限	総会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度事業実施報告並びに収支決算報告について</li> <li>・令和3年度事業計画(案)並びに収支予算書(案)について</li> <li>・令和3年度役員等について</li> </ul>	書面開催	15人
7月29日(木)	生涯学習指導者研修 学校と地域との協働推進コース②	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事例発表と協議 「県立学校における地域学校協働活動の事例」 県立座間高等学校(前県立愛川高等学校 校長) 校長 村上 聡 氏</li> <li>○講話とグループ協議 「地域学校協働活動の推進の仕方～地域の実情に合わせて～」 NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク 事務局長 井上 尚子 氏</li> </ul>	総合教育センター 205研修室	2人
8月17日(火)	生涯学習指導者研修 学校と地域との協働推進コース③	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事例発表 「地域学校協働活動～学校を核にした地域づくりへの展開～」 二宮町 一色小学校区地域再生協議会 廣上 正市 氏</li> <li>○講話 「これからの多世代連携・持続性のある地域運営」 横内こどもサポートネットワーク協議会 鈴木 奏到 氏</li> </ul>	オンライン (Zoom)	1人
8月26日(木)	生涯学習指導者研修 学校と地域との協働推進コース④	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事例発表 「地域学校協働活動～湯河原町放課後子ども教室の実践を通して～」 湯河原教育委員会社会教育課 社会教育推進員 中村 歩 氏</li> <li>○講話 「地域学校協働活動を円滑に推進していくために～推進員の育成～」 厚木市立森の里小学校 学校運営協議会 会長 青木 信二 氏</li> </ul>	オンライン (Zoom)	1人
10月25日(月)	第2回理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度実施事業について</li> <li>・令和3年度地区研究会について</li> <li>・令和3年度中期決算見込について</li> </ul>	オンライン (Zoom)	1人
【動画配信】 10/18(月)～ 11/12(金)	社会教育委員連絡会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けて」～学校を核とした地域づくり～</li> <li>講 師 一般社団法人みたかSCサポートネット代表理事 文部科学省 CSマイスター 四柳 千夏子 氏</li> </ul>	神奈川県立総合教育センターホームページにて、動画配信	-

神奈川県社会教育委員連絡協議会関係等（つづき）

<p>【動画配信】 10/6(水) ～ 11/26(金)</p>	<p>研修会</p>	<p>&lt;事例&gt; ②葉山町(令和2年度地区研究大会担当市町)の発表 ③山北町(令和2年度地区研究大会担当市町)の発表 &lt;講演&gt; ④演題 「社会教育委員の新たな役割～社会の大きな変化の中で～」 講師 明治学院大学社会学部社会学科教授 坂口 緑 氏 ④-1コミュニティの変容 ④-2かながわ教育ビジョン、中央教育審議会答申、社会教育委員の役割 ④-3生涯学習者であること、生涯学習を支援する人であること、人づくり+地域づくりの事例、社会教育委員の新しい役割</p>	<p>神奈川県立総合教育センターホームページにて、動画配信</p>	<p>-</p>
<p>【動画配信】 10/29(金)～</p>	<p>公民館研究大会</p>	<p>○基調講演 演題「歴史を踏まえた地域づくり」 講師 笹本 正治 氏 (長野県立歴史館 特別館長) ○山梨県事例発表 タイトル「次世代へつなぐ地域文化遺産の継承」 発表者 岡田みどり 氏 (甲斐市敷島公民館) ○分科会 第1分科会「公民館の今日的課題」 第2分科会「地域をつなぐ公民館」 第3分科会「防災と危機管理」</p>	<p>大会公式ページにて動画配信</p>	<p>-</p>
<p>【大会冊子 ダウンロード】 11/11(木) ～ 1/31(月)  【動画配信】 12/1(水) ～ 1/31(月)  【大会報告書 公開】 3/1(火) ～ 4/25(月)</p>	<p>関ブロ 社会教育研究大会</p>	<p>○基調講演「みんながつくる&lt;社会&gt;へー 人生100年、A I、そしてポストコロナ時代の社会教育ー」 講師 東京大学教授 牧野 篤 氏  ○トークセッション ・コーディネーター 東京学芸大学准教授・立川市生涯学習推進審議会委員 倉持 伸江 氏 ・登壇者 東京大学教授 牧野 篤 氏 演出家(ミュージカルアニーほか) 調布市社会教育委員 篠崎 光正 氏 東海大学准教授・昭島市社会教育委員 二ノ宮リム さち 氏 日本大学文理学部講師・町田市社会教育委員 吉田 和夫 氏</p>	<p>大会ホームページにて動画配信</p>	<p>-</p>
<p>【書面開催】 1月20日(木)</p>	<p>地区研究会 (横須賀市)</p>	<p>○人権講話 横須賀市人権擁護委員会による人権教室の実演 ○アトラクション：講演 横須賀カルタ、横須賀と坂本龍馬の妻お龍さん 斎藤秀一(郷土史家) ○研究発表 社会教育・社会教育施設のあり方～横須賀市を例として～ ※後日、資料等送付予定</p>	<p>書面開催</p>	<p>-</p>
<p>【書面開催】 2月25日(金)</p>	<p>地区研究会 (秦野市)</p>	<p>※後日、資料等送付予定</p>	<p>書面開催</p>	<p>-</p>
<p>3月14日(月)</p>	<p>第3回 理事会</p>	<p>・令和4年度実施事業(案)について ・令和4年度予算(案)について ・令和3年度地区研究会について ・令和5年度以降の予算(案)について ・令和3年度県・市町村社会教育委員に関する調査の集計結果について ・社会教育委員のためのハンドブック(時点修正)について ・研修会での事例発表について</p>	<p>オンライン (Zoom)</p>	<p>1人</p>

## 令和3年度地域ぐるみ家庭教育支援フォーラム開催要領（オンライン）

## 1 目的

厚木市の家庭教育の向上を目指すため、地域の特性を活かしながら、家庭教育支援の視点で既存事業を見直し、家庭教育支援の取組を推進する地域ぐるみ家庭教育支援の実践に役立つ情報提供や、地域での家庭教育支援の方策について、共通認識を深めることを目的として開催する。

また今年度は、今後取り組んでいく地域学校協働活動について考えるきっかけづくりとなる内容を盛り込むものとする。

## 2 主催 厚木市教育委員会・厚木市社会教育委員会議

3 対象者 社会教育委員、公民館職員、地区活動関係者、学校、  
学校運営協議会関係者 等

## 4 内容

## (1) 開会

主催者挨拶 厚木市教育委員会 教育長 佐後 佳親  
厚木市社会教育委員会議 議長 林 元春

## (2) 講演

「地区公民館の挑戦 地域社会における緩やかなつながりづくり  
～地域ぐるみ家庭教育支援事業と地域学校協働活動～」

講師 森の里公民館 地区館長 ※元社会教育委員会議 議長  
青木 信二 氏

## (3) パネルディスカッション

「地域学校協働活動の身近な実践例」

コーディネーター 厚木市社会教育委員会議 遠藤進委員

パネリスト 森の里小学校 地域学校協働活動推進員 飯田佳奈氏

パネリスト 玉川地区 せんみ凧保存会 前場政行氏

パネリスト 愛川中原中学校 地域学校協働活動推進員 高橋誠氏

パネリスト 愛川町教育委員会 生涯学習課 谷島花氏

# 提言書作成のスケジュール

資料 4

年度	会議種類	回数	時期	概要	検討内容
令和2年度	全体会	第2回目	R2.11	議論	★今後のスケジュールについて ★提言書骨子(案)について
	全体会	第3回目	R3.2	議論	★他市事例資料の送付
	全体会	第4回目	R3.3	議論	★他市の事例に基づく協議 ★厚木の現状と課題
令和3年度	全体会	第1回目	R3.8	R2報告及びR3計画	★令和2年度の協議結果報告 ★令和3年度のスケジュール ※新委員間での共有
	全体会	第2回目	R3.11	R2報告及びR3計画	★前回配布した資料の簡単な補足説明等 ★厚木の現状と課題データを抽出するためのアンケート(公民館)結果
	全体会	第3回目	R4.1	情報収集議論	★これまで協議した内容の確認
	全体会	第4回目	R4.3	議論	★社会教育指導員からモデル地区の取り組みについて報告 ★今後の厚木市における方向性等(各論素案)の協議
令和4年度			R4.4下旬まで		小員会メンバーに各論素案を事前送付
	小委員会	第1回目	R4.5.13(金) 14:00~ 教育委員会会議室	議論	★提言書(各論素案)の協議
	全体会	第1回目	R4.6.16(木) 14:00~ 厚木北公民館2階	議論	★提言書(全体)案の協議
	小委員会	第2回目	R4.7.8(金) 15:00~ 教育委員会会議室	確認	★提言書(全体)案の確認
			R4.7中旬		全委員に提言書(案)を事前送付
	全体会	第2回目	R4.7下旬	確認	★提言書内容の最終確認
			R4.7下旬	提出	★提言書を教育委員会に提出

※全体会との間に小委員会を設けて議論を進める。

## 地域学校協働活動提言書の内容について

・文科省の施策では、「学校運営協議会」と「地域学校協働活動」との一体的推進を求めています。「学校運営協議会」は「学校の教育課程発信を起点にして議論をする」という実態が誰にもわかりやすい形となっていますが、「地域学校協働活動」を行うのは誰なのかという定義はされていません。厚木市ではこれまでも地域に存在する様々な団体が、実施主体として存在していましたが、これからは学校との一体的な推進ということも考えた厚木市の特色を活かした施策展開が必要となってきます。

以下、提言としての検討事項です。次の事について「教育委員会への提言」という形で3月9日に開催した小委員会でご意見をいただきました。意見をまとめたものは別紙の「2022.3.9小委員会意見集約（提言書各論）」をご覧ください。

次世代を担う子ども・若者が、社会教育による学びを通じて地域の課題やその解決方法を様々な世代の住民と共に学ぶことは、持続可能な地域運営につながります。また、子ども・若者の参加は他の住民の参加意欲にも好影響を与えるとともに、子ども・若者にとっても、若年期に自分自身で課題を設定し取り組みなどの自己学習の習慣や、他者との関わりの中で相互に学習する視点を身につけておくことは、地域に対しての愛着を持てるようになるばかりではなく、その後の学習や社会生活においても大きな意義があります。

一方、学校教育では改訂された学習指導要領の「前文」に、教育の理念が明記され、よりよい学校教育を通して、よりよい社会を創るという理念を学校と社会が共有し、それぞれの学校において社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要とうたわれています。

地域学校協働活動は、地域全体の人づくり、つながりづくり、地域づくりの機会として、大きな可能性を持っています。地域づくりの新たな課題に対応するための学びと活動の輪が、コミュニティ・スクールと地域学校協働本部が両輪となり機能することで相乗効果を生み、さらに広がりをもたらすと考えられます。また、地域学校協働本部により、コーディネート機能、より多くの地域住民等の参画による多様な地域学校協働活動、継続的・安定的実施により、

- ① 人々のつながりや地域の連帯感の形成
- ② 学校を媒介とした人間関係の構築と学びの場の拡大
- ③ 地域課題の解決と組織化の道筋づくり
- ④ 地域づくりの主体の担い手を形成する相乗効果をもたらすと考えられます。

以上のように、これからの教育は、学校と地域が子どもを育てる目標を共有し、連携・協働しながら活動し、学校教育と社会教育の一体的推進を進めることが必要で、そのための施策を考え、推進を図るために、次の内容を厚木市社会教育委員会議から厚木市教育委員会への提言とします。

そこで、皆さんの意見をお聞かせください。

- ① 学校運営協議会で話し合われる「学校情報」を「地域情報」にして活動に結び付けたり、「地域情報」を「学校情報」にして活動に結び付けたりしていただくためには、どのような施策が必要だと思えますか。
  
- ② 地域では様々な団体が学校との関係を保ちながら活動を行っていますが、学校から見ると、窓口を一本化できないかという声が聞かれたり、政府の働き方改革の提言から「地域との連絡調整は教員の仕事ではない」とも提言されたりしています。一方、地域住民から見た場合、学校の場所はわかるが、地域と学校をつなぐ推進員の存在がわからないし、その人たちの活動拠点となる本部がどこにあるのかがわからないから、直接学校とのやり取りとなっていました。これらを解消し厚木らしい施策を実施するためにはどうしたらいいと思えますか。
  
- ③ 本年度モデル研究として委嘱された地域学校協働推進員は、元PTA本部役員であったり、民生主任児童委員であったり、青少年健全育成会会長であったり、その地域や学校におけるキャリアはまちまちです。それぞれが意欲的にボランティアとして活動されていますが、学校と地域をつなぐコーディネーターとは何か、何をすればいいのか、他の推進員さんはどのようなことを行っているのか等、常に不安や心配事も背中合わせです。そのようなことを解消するためにはどのような施策が必要だと考えますか。
  
- ④ 厚木市では、地域学校協働活動推進員さんの認知度を高めたり、活動の実践を広げたりしていくことが必要になってきますが、そのためにはどのような施策が必要だと考えますか。

### 学校運営協議会で話し合われる「学校情報」・・・

- ・一市民からすると学校の中が見えない、地域の情報も少ないし、学校と地域がつながって何かをしていこうという動きも見えない。そういうことを発信していくことが大切だし、そういうことをやってくれる立場の人を位置づけることが必要ではないか。
- ・学校と地域のパイプ役となる立場の人を位置づけることが必要。
- ・一般の人は学校と地域をつなぐという認識を持っていない。それぞれの情報を共有できる人を増やしていくことが重要。そういう立場の人を育て、増やしていくことが必要。一人だけではなく、複数配置ができないか。
- ・学校便りや公民館便りは一方向でしかない。学校から地域、地域から学校という一方向だけではなく、双方向の連絡や情報共有ができるようなシステムが必要。そのためにはそういう立場の人を位置づけ、その人たちのネットワークを広げ、「情報」や「活動」を広げていくことが重要となってくる。
- ・公民館だよりの改革が必要。「たより」としての機能を発揮させる必要があるのでは。
- ・開かれた学校から地域とともにある学校に変わった。できれば校内に「協働活動担当教員」を配置できないか。栃木県などは県内全小中学校に配置している。
- ・公民館職員に社会教育士や社会教育主事有資格者のOBを配置していったらどうか。
- ・学校には担当教員、本部側には地域連携担当を配置することで、パイプ役の人がアポを取れやすいようにすることが大切。

### ① 地域では様々な団体が学校との関係を保ちながら・・・

- ・厚木市の公民館は充実していてそれが社会教育を推進する上で「強み」となっている。本部を公民館にするのがベストだし、職員の配置や予算を増やしてもらいたい。
- ・「地域づくりの場」「学習支援の場」という大きな役割が今の公民館にはある。公民館を中心に「思い」を実践に移していくことが必要。
- ・PTA や地域子ども教室なども充実しているが、「本部」となるとその存在が一般的には見えない。公民館が協働本部となると誰にもわかりやすい。
- ・全国的に見ても厚木市は公民館が充実している。市民の意識も地域作りの拠点「公民館」という思いが強い。公民館こそ地域学校協働本部にすべきである。

### ② 本年度モデル研究として委嘱された地域学校協働推進員は・・・

- ・市民も教職員もこれまでの意識を変えていくことが必要で、そのためには計画的・継続的な研修をしっかりとやっていかなくてはならない。
- ・学校運営協議会では「熟議」が求められている。協働本部でも地域作りについて「熟議」

することが必要で、そこから実践につなげてほしい。

- ・委嘱された各地区の推進員さんが、情報を共有したり、他地区から知恵を得たり、愚痴をこぼしあったりするような、「連絡会」が必要ではないか。
- ・推進員一人では不安も大きいと思う。受け入れ窓口が必要だし、他に共有できるようなシステムが必要。
- ・推進員さんが勉強する研修会を実施したり、研修会に参加したり先進地の視察をしたりする時の旅費や参加費のような予算立てが必要。
- ・推進員さんは専門家ではないので、教育委員会内にいろいろプログラム相談や困りごとの相談に乗ったりできる人を配置すべきである。
- ・ボランティアでやっているコーディネーターのモチベーションを維持していくことが大切で、フィードバックする場を設置することが必要では。
- ・地域コーディネーターとしてのスキルを学べるような（コーディネートスキル、企画・設計、地域情報の収集・提供、人や組織のネットワーク形成判断）養成講座が必要。そして、少しずつ増やすのではなくて全地区一斉に実施できないか。

### ③ 厚木市では、地域学校協働本部活動推進員さんの認知度を・・・

- ・公民館便りが「募集」ばかりでつまらない。公民館が地域の核となるような、公民館の思いを届けるような意識を持って発信してほしい。
- ・推進員さんの活動をアピールするための情報誌(活動報告や今後の取り組み)みたいなものがあつた方がいいのではないか。
- ・今、学校運営協議会の担当が教育総務になっているが学校と地域の連携と考えたときにはやりづらいのではないか。
- ・学校運営協議会で話題になった「学校情報」から公民館の講座内容等を考え実施していくことが地域づくり、人づくりにつながる。
- ・推進員と公民館職員の話し合いや情報共有だけではなく、実践につなげていくことが必要。
- ・地域学校協働活動推進員という名称が長いので、例えば「かけはしさん」というような愛称みたいなものを作ってみてはどうか。また、イメージキャラクターみたいなものをつくってはどうか。
- ・活動を支える本部から「よかった」というような声上がるように実施してもらえれば、活動そのものが広がっていく。
- ・市民にアピールできるようなパンフレットみたいなものを作成してはどうか。